

不登校を経験した人 たちのための高校です

入学試験は面接だけ
その人の人柄を見て判断してくれます

橘 学院高等部

入学についてご相談したい方はご連絡ください
電話:047-324-2889

〒272-0021 市川市八幡 3-3-2 J 403
グランドターミナルタワー本八幡
JR本八幡駅・京成八幡駅・都営本八幡駅
徒歩1分

難解な雨漏りを一発解決

雨漏り検査!

特殊検査液で漏水原因をピンポイント説明
修繕費の無駄はカット

壁、天井のしみを引けついたらまず、こ一軒下さい!!

tel 03-5875-6633

見積り無料 信頼と実績の
株式会社 サーベイ
〒124-0006
検査・修繕 東京都葛飾区堀切 2-60-9



- 草取り
- 植木の手入れ
- 屋内外の清掃
- 事務・パソコン入力等
- 毛筆の宛名書き などなど

公益社団法人
市川市シルバー人材センター
へご相談ください

市川市平田 1-20-17
☎047-326-7000

グループホーム

(認知症対応型共同生活介護)
小規模多機能型居宅介護

http://sinai.jp

すがの 親愛ホーム 親愛の家

市川市菅野 5-2-12
東京歯科大学市川病院そば

☎047-712-5115

親愛ケアサービス株式会社 市川市南大野 1-28-14

Before



でこぼこで水たまりが多く歩きづらい道でした

After



きれいに舗装され歩きやすい道に

駅周辺をバリアフリーで 歩きやすく

「人にやさしい道づくり重点地区整備事業」では、主要駅周辺のおおむね500メートル以内を重点地区として、高齢者や身体障害者などに配慮した道路整備を行い、歩道の段差解消・平坦性の確保などバリアフリー化を進めています。平成25～27年度の3年間で、整備された道は、約1,700メートルとなります。



歩行者も安心なフラワー通りに

Before



歩道が1.2メートルで段差もありました

After



歩道が2メートルになり段差も解消されました

工事の前のフラワー通りは、歩道が狭く、でこぼこになっていたので、ベビーカーや車いすの方だけでなく、歩行者にも歩きづらい道でした。歩道を広げ、路面をきれいに整備してからは、歩きやすく安全になり、みなさんから「通りにやすくっていいね」との声もよく聞きます。今後フラワー通りという商店街名に合わせて花で道を彩れるよう、多くの人の理解のもとで地域住民と市が協力して良い道をつくってきたいと思っています。



行徳フラワー通り商店会長露木さん(左)、藤田さん(中)、井上さん(右)

人にやさしい道づくり重点地区整備事業

Before



自転車がすれ違うのもやっとの狭さ

After



今では車も通れる広さに

古かった側溝も新しく安全に

Before



狭く、道の端の側溝がでこぼこでした

After



道幅が広がっただけでなく舗装がきれい

家の建て替えに伴い、必要となる道路拡幅用地部分の土地を寄付することで、分筆登記や整備などの手間や費用がかからないと知り、協力ができました。工事前は道幅が3メートルくらいで、車が1台通るだけでいっぱいでした。側溝も古くなってガタついていて危なかったですね。寄付することで、舗装と側溝の移設を市がやってくれました。これで、自動車の往来があっても、歩行者の安全が守られると嬉しいです。



事業に協力した小林さん

まがころ道路整備事業

まがころゾーンで車のすれ違いをスムーズに

市内には車のすれ違いが困難な、幅の狭い道路があり、通行に支障をきたしています。この事業は、道路を互いの思いやりで譲り合って利用することを目的とし、市からの土地提供のお願いに応じていただいた方の協力により、「まがころゾーン」と称するすれ違いのための待避スペースを設けるものです。平成22～27年度の6年間で、地域のみなさんご協力により22カ所のまがころ道路が完成しました。



Before



車のすれ違いが困難な道でした

After



まがころゾーンで道の譲り合いができるように

土地の提供にご協力をお願いします

市では、地域の方にとってより暮らしやすい街をつくることを目指し、狭あい道路対策事業やまがころ道路整備事業を進めています。市民のみなさんから土地を提供していただくことが必要となりますので、ご協力をお願いします。それぞれの事業ごとに細かな要件があります。詳しくは市公式Webサイトをご確認いただくか、お問い合わせください。

問い合わせ先

- 狭あい道路対策事業 = ☎712-6334 建築指導課
- まがころ道路整備事業・人にやさしい道づくり重点地区整備事業 = ☎712-6348 道路建設課

本市は、古くから住宅が連なり、道路の新設・拡幅などによる都市基盤の整備が大きな課題です。課題解消に向け、市の南北幹線である都市計画道路3・4・18号や東京外郭環状道路が現在、完成に向け大きく進捗しています。市では、これらの幹線整備以外にも、都市機能向上のため、狭あい道路の解消・主要駅周辺のバリアフリー化などを、市民の協力のもと進めています。

(建築指導課、道路建設課)

少しずつ着実に

いちかわの道を通りやすく

狭あい道路対策事業

市民の寄付で安全で快適な道路に

狭あい道路は、日常生活での交通や安全上での問題、緊急時の緊急車両の通行など、消防・緊急活動に大きな支障をきたします。市では平成25年度から、幅員4メートル未満の市道などを対象に、拡幅用地を寄付していただけたら、道路拡幅用地の整備と寄付に必要な測量分筆を行っています。なお、測量分筆を自身で行う場合は費用の一部を負担します。

古かった側溝も新しく安全に

家の建て替えに伴い、必要となる道路拡幅用地部分の土地を寄付することで、分筆登記や整備などの手間や費用がかからないと知り、協力ができました。工事前は道幅が3メートルくらいで、車が1台通るだけでいっぱいでした。側溝も古くなってガタついていて危なかったですね。寄付することで、舗装と側溝の移設を市がやってくれました。これで、自動車の往来があっても、歩行者の安全が守られると嬉しいです。

まがころゾーンで車のすれ違いをスムーズに

市内には車のすれ違いが困難な、幅の狭い道路があり、通行に支障をきたしています。この事業は、道路を互いの思いやりで譲り合って利用することを目的とし、市からの土地提供のお願いに応じていただいた方の協力により、「まがころゾーン」と称するすれ違いのための待避スペースを設けるものです。平成22～27年度の6年間で、地域のみなさんご協力により22カ所のまがころ道路が完成しました。